

環境と健康



開講あいさつをする佐藤理事長(上)、閉講式で修了証を受け取る尾道市公衛協村田理事長(下)

福山市に150人が参集 体験交流を通して活動を活性化

環境保健夏季大学(合同研修)は、市町公衛協推進委員、事務局担当者を対象とした1泊2日の宿泊研修で、体験交流を通して今後の環境保健・公衆衛生の向上と活動の活性化をねらいに開催し

ています。今年7月6日、7日に開催し、ツネイシマなみビレッジ(福山市沼隈町)に県内各地から約150人が参集しました。

1日目は、公衛協の活動を紹介するポスターセッション、広島県環境保全課木村氏から「瀬戸内海の水環境の保全に関する広島県計画」、広島県がん対策課佐矢野氏から「広島県のがん対策」6つの柱で日本のがん対策」と題した情報提供をしていただいたのち、5つのグループに分かれて当協

会が提案・推奨する全県共通事業重点メニューの情報交換を行いました。2日目は、リーダーシステムに関する組織力診断を各自で行い、当協会から「平成27年度に実施した組織力診断の報告と協会の処方箋」と題した情報提供ののち、3つのグループに

分かれて組織力診断の結果を基にした情報交換を行いました。情報交換では、「えんたくん(直径1.5mのダンボール卓)」を使い、4、6人の小グループに分かれて、活動の現状や問題点、課題などを話し合いました。少人数で膝を突き合わせることで、活発な意見交換ができたようです。

また(平成22~23年度)。その中で「瀬戸内海」の保全・創造に対する意識の高揚を図る新たな試みとして、「水環境を基調とした海文化検討会(仮称)」を設置し、瀬戸内海の水文化について瀬戸内圏住民にアピールする取り組みを進めることとなりました。「海文化」を切り口として、水環境の保全の大切さをアピールしていくため、情報発信などを中心とした取り組みを進めます。

③取り組みの状況
これまでに情報収集を終え、冊子に取りまとめたもの、今後の予定等は下表のとおりであり、冊子化したものは、ホームページで公開しています。(普及啓発・活動支援 → 瀬戸内における水環境を基調とする海文化 <http://www.seto.or.jp/promotion/bunka>)
瀬戸協の総会時特別講演や40周年記念事業などの機会に食文化や海文化について、鷲尾先生から講演していただきました。

①はじめに
瀬戸内海環境保全協会(以下、「瀬戸協」といいます。)では、平成24年度から海文化委員会を設置し、情報収集、情報発信を行っています。これまで、食文化、伝統行事、石の文化・塩の文化について取りまとめてきました。「海文化」の取り組みの背景などを含め、その内容について数回にわたり紹介します。

委員会の構成は、現在、7府県2漁連1衛生団体であり、有識者として水産大学校代表の鷲尾圭司先生に参画いただいています。委員会で方針を定め各府県市から情報を収集し、事務局で案を作成し、再度、府県市に漏れがないかなどを確認してもらい、有識者のアドバイスを得て、取りまとめてきました。

②「海文化」に取り組むこととなった背景
瀬戸協の設立35周年を契機に「社団法人瀬戸内海環境保全協会あり方検討会」を設置し、事業内容の見直し、今後の協会運営について検討を行い

③取り組みの状況
これまでに情報収集を終え、冊子に取りまとめたもの、今後の予定等は下表のとおりであり、冊子化したものは、ホームページで公開しています。(普及啓発・活動支援 → 瀬戸内における水環境を基調とする海文化 <http://www.seto.or.jp/promotion/bunka>)
瀬戸協の総会時特別講演や40周年記念事業などの機会に食文化や海文化について、鷲尾先生から講演していただきました。

(公益社団法人瀬戸内海環境保全協会)

海文化の区分と取り組み状況		
海文化の区分	関連項目・具体例	取り組み状況
食文化	主な漁獲物、ブランド魚介類、ブランド加工品、料理、伝統漁具、漁法、地域固有の食文化	平成27年7月発行
伝統行事		平成28年3月発行
石の文化・塩の文化	石材利用、製塩方法	平成29年上期発行予定
自然景観と文化景観	藻場、干潟、浅場の保全等、希少種	平成29年度に取り組み
	海・浜辺の環境保全等(多島海美、白砂青松、海水浴場、希少種)	平成30年度予定
	身近な景観の保全等(街並み景観、航路、段々畑等)	平成31年度予定

おかげさまで60年

住みよい未来をこれからも

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520
かんぽきょう 検索

基本理念
~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

